

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 27 年前期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	崔 広為	会員番号	0033271
申請者の 所属・職名	京都大学ウイルス研究所 生体防御研究分野 ・ 特別研究員		
出席会議名	The 6 th Congress of the Federation of Immunological Societies of Asia Oceania		
発表論文 タイトル	Characterization of the IL-15 niche in vivo		

実施結果:

この度は平成27年度Tadamitsu Kishimoto International Travel Awardを賜り誠にありがとうございました。岸本先生をはじめ、ご選考いただいた日本免疫学会の先生方に厚く御礼申し上げます。また、本研究につきご指導いただいた生田宏一先生並びに石井優先生、実験にご協力いただいた多くの先生方に心より感謝申し上げます。

私は主に生体内におけるサイトカイン産生性免疫微小環境について研究しています。今回は2015年6月30日から7月3日にシンガポールにて開催されたThe 6th Congress of the Federation of Immunological Societies of Asia Oceania (FIMSA2015)において、生体内におけるIL-15ニッチの解析について報告を行いました。免疫微小環境内において、ストローマ細胞はサイトカインやケモカインなどを産生し、リンパ球の発生と機能に大きな役割を担っています。このサイトカインの一つにインターロイキン15(IL-15)があり、免疫系の分化、維持、免疫応答に重要な働きをしているが、その産生細胞と局所的な機能についてはほとんど知られていませんでした。我々は蛍光タンパクをノックインしたレポーターマウスを作成することで、生体内におけるIL-15産生性ストローマ細胞の同定に成功しました。さらに、IL-15コンディショナルノックアウトマウスを構築し、局所におけるIL-15産生性ストローマ細胞の機能を解析することができました。

本学会中のポスターセッションにおいて発表の機会を与えていただき、特に活発な討論を通して本研究に関する多くの助言を得られたことができ、とても有意義な発表となりました。さらに、癌免疫や感染免疫など他の研究分野の先生方と議論できたことでとても良い刺激を受けたと同時に、異なる視点からの知見などを教えていただきとても勉強になりました。今後の研究の発展につながると信じています。この度は貴重な機会を与えていただき誠にありがとうございました、今後は更なる研究に励みたいと思います。